	計		185,363,000	イ）自己収入に係る収益計上額： 一般勘定　0 労災勘定　0 雇用勘定　2,835,996 計　2,835,996 ・雇用勘定：（雑益：2,835,996）
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	一般 労災 雇用 小計	349,480,709 78,483,705 1,674,967,528 2,102,931,942	①費用進行基準を採用した業務：期間進行基準を採用した業務以外の全ての業務 ②当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額： 一般勘定　393,857,392 労災勘定　79,675,443 雇用勘定　1,698,086,528 計　2,171,619,363 ・一般勘定：（人件費：321,601,702、外部委託費：3,754,181、雑給：21,569,070、諸謝金：8,932,040、図書印刷費：11,549,192、消耗品費：2,576,376、賃借料：3,293,423、保守料：739,886、通信費：1,131,242、旅費交通費：7,059,625、水道光熱費：2,471,187、修繕費：1,041,705、租税公課：2,618,036、減価償却費：1,162,076、財務費用：36,990、雑損：3,296,551、その他：1,024,110） ・労災勘定：（人件費：48,336,255、諸謝金：6,189,870、図書印刷費：536,619、賃借料：755,540、水道光熱費：12,807,318、消耗品費：1,719,868、租税公課：4,346,200、外部委託費：3,106,021、旅費交通費：579,434、減価償却費：1,190,656、その他：107,662） ・雇用勘定：（人件費：862,511,316、外部委託費：265,825,404、雑給：210,732,578、諸謝金：65,617,910、図書印刷費：61,732,211、消耗品費：53,525,916、賃借料：8,682,474、保守料：21,008,055、通信費：11,995,878、旅費交通費：22,424,215、水道光熱費：31,835,274、修繕費：13,105,333、租税公課：22,483,764、減価償却費：25,104,342、財務費用：492,109、その他：21,009,749） イ）自己収入に係る収益計上額： 一般勘定　43,854,041 労災勘定　1,082 雇用勘定　2,428,955 計　46,284,078 ・一般勘定：（業務収入：43,657,213、財務収益（受取利息）：119,327、雑益：77,501） ・労災勘定：（雑益：1,082） ・雇用勘定：（財務収益（受取利息）：232,438、雑益：2,196,517）
	資産見返運営費交付金	一般 労災 雇用 小計	0 0 7,414,811 7,414,811	
	資本剰余金	一般 労災 雇用 小計	0 0 0 0	
	計		2,110,346,753	ウ）固定資産の取得額： 一般勘定　0 労災勘定　0 雇用勘定　7,414,811 計　7,414,811 ・雇用勘定：（工具器具備品：7,414,811） ③運営費交付金の振替額の積算根拠 一般勘定　349,480,709 労災勘定　78,483,705 雇用勘定　1,682,382,339 計　2,110,346,753 ・一般勘定：（費用393,857,392＋固定資産除却損12,238）－自己収入43,854,041－資産見返負債戻入539,880＋貯蔵品5,000＝349,480,709 ・労災勘定：費用79,675,443－自己収入1,082－資産見返負債戻入1,190,656＝78,483,705 ・雇用勘定：（費用1,698,086,528＋資産取得7,414,811＋固定資産除却損107,571）－自己収入2,428,955－資産見返負債戻入20,484,093－貯蔵品232,534－リース取引影響額80,989＝1,682,382,339 運営費交付金収入から自己収入で充当した経費相当額を除いた額を運営費交付金収益に計上することとしている。
会計基準第81第３項による振替額			0	第３期中期目標期間三年度目であることから、独立行政法人会計基準第81第３項の規定に該当せず。
合　計			2,295,709,753	

(3)　運営費交付金債務残高の明細

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高			残高の発生理由及び収益化等の計画
		勘定	金　額	
	業務達成基準を採用した業務に係る分		0	―（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	一般 労災 雇用 小計	0 0 0 0	○期間進行基準を採用した業務は、一般管理費のうち年間業務契約を行っている業務である。 ○年度計画の予定どおりに業務が進行したので、当該業務に充てられる運営費交付金の計画額全額を収益化した。